



出生数は減少

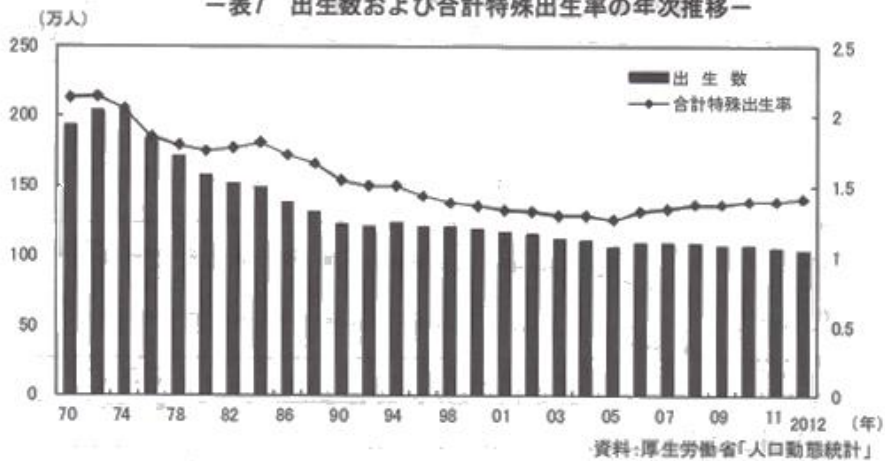


厚生労働省が発表した「2012年人口動態統計」によると、2012年の合計特殊出生率（1人の女性が15～49歳の間に産む子供の数の平均）は1.41で、前年を0.02上回った。

また、2012年の出生数は103万7,231人で、前年の105万806人に比べて1万3,575人減少。出生数を母の年齢（5歳階級）別にみると、34歳以下の各階級では前年より減少したが、35歳以上の各階級では増加した。

さらに、出生順位別にみると、2011年は第1子、第2子は減少し、第3子以上が増加しましたが、2012年はすべて減少。

一表7 出生数および合計特殊出生率の年次推移



一表8 日本の人口動態

出生	死亡	乳児死亡	死産	婚姻	離婚
103万7,231人 30秒に1人	125万6,359人 25秒に1人	2,299人 3時間49分 15秒に1人	2万4,800胎 21分15秒に 1胎	66万8,869組 47秒に1組	23万5,406組 2分14秒に 1組

資料:厚生労働省「人口動態統計」

